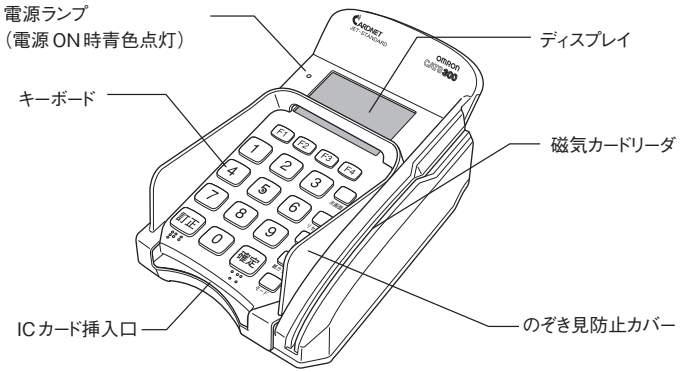
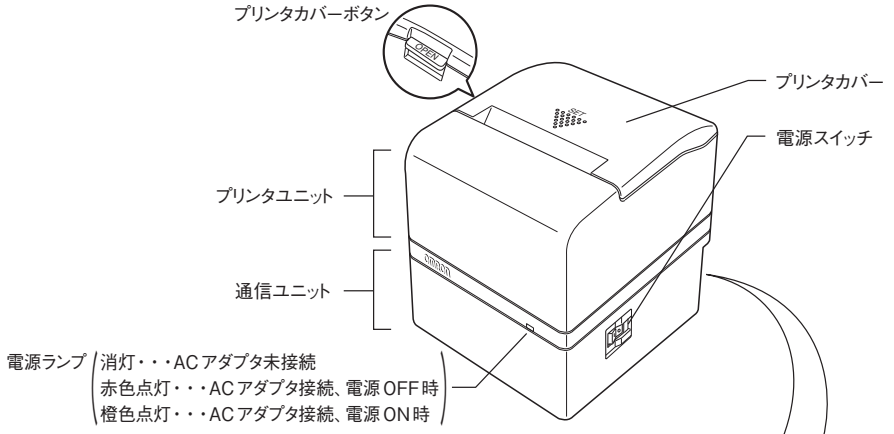
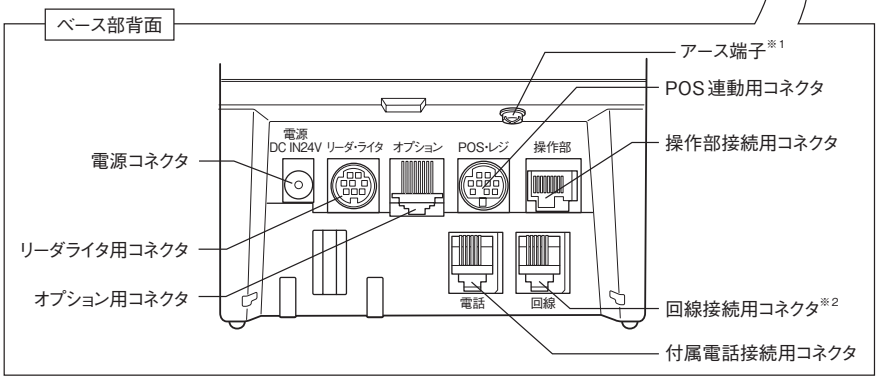
1.2. 端末各部の名称

<操作部>



<ベース部>



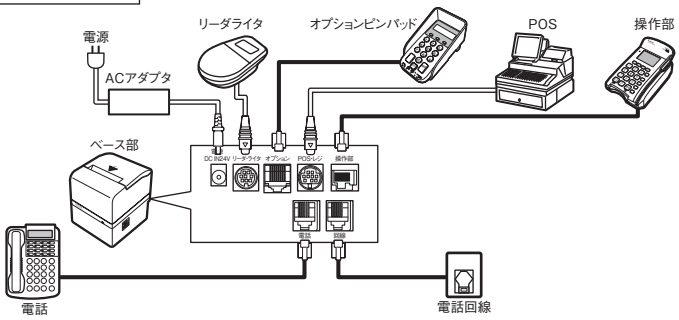


※1　アースの接続は付属のアース線をご使用ください。接続が無い場合はノイズ／静電気／雷サージ耐性が下がり、機能障害が発生する恐れがあります。

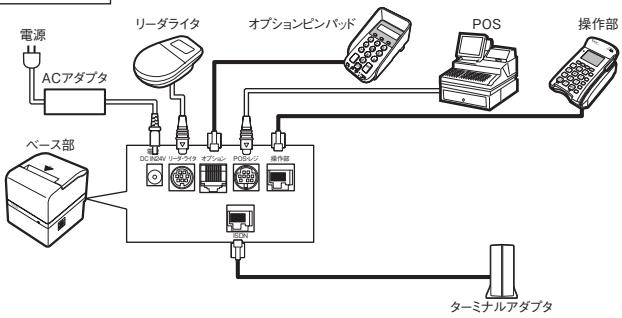
※2　コネクタは回線タイプ毎に異なります。詳細は次ページをご参照ください。

接続方法

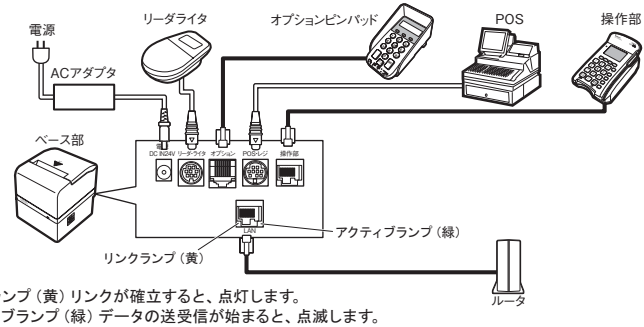
アナログ回線タイプ



ISDN回線タイプ



LAN回線タイプ



＊ リンクランプ（黄）リンクが確立すると、点灯します。
アクティブランプ（緑）データの送受信が始まると、点滅します。

2.2. 回線についてのお願い

● 電話回線についてのお願い（アナログモデルの場合）

1）キャッチホン回線との接続

NTTのキャッチホンサービスの契約を行っている電話回線にCATS300を接続した場合、キャッチホンの呼び出し音によりデータ通信に支障が発生することがあります。CATS300を接続する回線で、キャッチホンサービスも同時に利用したい場合には、キャッチホンⅡサービスの契約をお奨めいたします。キャッチホンⅡサービスで呼び出し回数を0に設定することにより、データ通信に支障を発生させずにキャッチホンサービスを利用することができます。

2）PBXへの接続

構内交換機（PBX）に接続するときは、回線の電気的な条件が一般加入電話回線と同等であることをPBXの製造会社や保守担当会社に確認のうえご使用ください。回線の電気的な条件が異なると使用できない場合があります。

3）2線式でない電話装置（ホームテレホンなど）でのご使用

ビジネスホンやホームテレホンなどの2線式でない電話装置は、回線の電気的な条件が一般加入電話回線と異なるため、そのまま接続することはできません。接続する場合には、電話装置の製造会社や保守担当会社にご相談ください。

4）電話機・FAXとの併設

電話機・FAXとの併設用接続ケーブルは一端はモジュラージャックケーブルで、もう一端はお手持ちの電話機・FAXに接続できる形状のものをご用意ください。（詳しくは電話機・FAXをお買い上げいただいた販売店にご相談ください。）

5）本機のご使用にあたって、NTTレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。

ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。

詳しくは局番なしの116番へお問合わせください。

● ISDN回線についてのお願い（ISDNモデルの場合）

1）DSU

本機の接続には、本機のほかにDSUが必要です。DSUはお客様でご用意ください。

2）電話機・FAXの利用

一般加入電話回線で使用していた電話機・FAXを接続する場合、ターミナルアダプタが必要です。

ターミナルアダプタはお客様でご用意ください。

● LAN 回線についてのお願い（LANモデル の場合）

1）正しく結線された信頼性のあるLAN ケーブルを使用してください。

2）ハブと本端末間の距離は最大100 m までにしてください。

3）間違って他のコネクタを接続しないでください。故障の原因になります。

● 本機内蔵の通信ボードは下記の技術基準適合認定を取得しています。

底面のネジを緩めると分離できますが、故障の原因となるため絶対に取り外しは行わないでください。

アナログモデル：認証番号A11-0225005

ISDNモデル：認証番号C11-0323001